介護のココロ

市地域包括支援センター ☎・内線1093

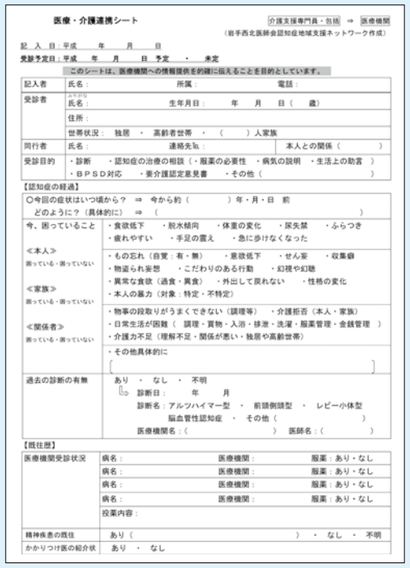
医療介護連携シートの使用を開始しました

広報はちまんたい12月3日号の『介護のココロ』では、認知症の特徴などを紹介しました。今号は「医療介護連携シート」を紹介します。

●医療介護連携シートとは

認知症の人とその家族へのサポートを密にし、医療機関と介護施設、地域包括支援センターの関係者が連携をするために考えられたシートです。

地域包括支援センターの職員やケアマネージャーが作成後、医療機関に提供し、情報共有することで、治療やサービスをより効果的に行うことを目的としています。



医療介護連携シートの一部

●連携シートの特長

初診の際、基本的な情報の聞き取りに要する時間を短縮し、家族や介護の立場から見た本人の様子から、より正確に病状を診ることができます。

また、診断の結果から分かった注意点を、介護サービス提供側へ正確に伝えることができ、安心した生活につながります。

●作成にご協力ください

情報提供は、原則として、本人、ご家族の同意を得た上で行います。

本人やご家族へ、認知症の適切な治療とよりよいサービスを提供できるよう、医療介護連携シートへのご理解と、聞き取りや医療機関への情報提供に、ご協力をお願いします。

福祉NETWORK

子育てNEWS

地域福祉課児童福祉係 ☎・内線1105

子育て支援ヘルパーをご利用ください

市は、子育て支援ヘルパー派遣事業を実施しています。

産前・産後の妊産婦は、日常生活での負担や不安が大きくなります。産前・産後の時期に、訪問による支援を行い、子育ての手助けをするのが、この事業の目的です。

■料金　無料

■内容　家事援助(日常的な炊事、洗濯、掃除、買い物)や育児補助、病院や健診への付き添いなど(サービスは、親の子育てを支援するために行っていますので、親がそばにいることが必要です)。

■利用時間　午前９時から午後５時まで(日曜、祝日および年末年始を除く)

■その他　利用対象者は、昼間に当該妊婦または母親などを援助する人がいない世帯。既定の利用回数を超えた場合は、実費を負担いただきます。

利用対象者	利用期間	利用回数と時間
母子手帳交付後の妊婦がいる家庭	母子手帳交付後から出産予定日まで	６回以内とし、１回当たり２時間以内
１歳未満の乳児がいる家庭	１歳になる前日まで	
３歳未満の２人以上の多胎の子がいる世帯または３歳未満の子がいるひとり親家庭	双子以上の出産やひとり親世帯などの場合は出産後３年まで	１歳になる前日まで、１歳から２歳になる前日まで、２歳から３歳になる前日まで、各６回以内

■利用までの流れ

❶妊娠届の際に窓口で申込書などを配布

❷利用希望者は、申込書と確認事項を市役所地域福祉課または各総合支所地域振興課に提出

❸地域福祉課で審査の上、申込者に利用券を送付

❹利用券が届いたら、利用希望日の１週間前までに受託事業者へ電話で利用を申し込み

❺サービスの利用開始

◆受託事業者　ＪＡ新いわてホームヘルプステーション西根(☎70-2181)

2016 希望郷 いわて国体 そばっち通信 Vol.8

国体マスコットキャラクターそばっち
(スキー競技ジャイアントスラローム種目)

市大会スローガン
きそえ つどえ かがやけ 農(みのり)と輝(ひかり)の大地で

希望郷いわて国体市実行委員会では、ホームページ(http://www.hachimantai-kokutai.jp/)やfacebookで情報を配信中！
右のＱＲコードを読み取ると、直接ホームページにアクセスできます。

冬季国体運営ボランティア募集終了

平成27年２月から募集していました「冬季大会スキー競技会運営ボランティア」の登録受け付けを終了しました。

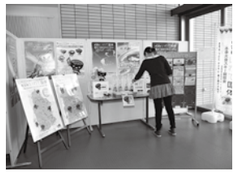
個人40人、団体33人の計73人の皆さまからボランティアに申し込みいただきました。たくさんの申し込みありがとうございました！　２月20日から23日まで開催される冬季国体スキー競技会の成功に向けて、共に頑張っていきましょう。

なお、10月開催の本大会の運営ボランティアは、募集を継続しておりますので、ご協力をよろしくお願いします。

国体ＰＲコーナーを設置しています

市役所結(ゆい)のひろばに希望郷いわて国体ＰＲコーナーを設置しています。

コーナーには、各種パンフレットや国体オリジナルグッズなどの購入申込書などを備え付けています。市役所来庁の際は、ぜひお立ち寄りください。



国体の情報をＰＲ

冬季国体応援＆おもてなしメニュー提供店を募集中

県農林水産部では、冬季大会開催期間中に国体限定メニューを提供していただける飲食店を募集しています。

参加すると、県ホームページやパンフレットへ店舗情報が掲載されます。県内外から来場される国体関係者へのおもてなしをしてみませんか。

詳しくは、県農林水産部流通課(☎019-629-5732)まで。

市国体サポーターズ応募者数(本大会)
【平成27年12月24日現在】

120

皆さんの応募お待ちしています

地域おこし協力隊だより〈23〉

今月の担当
菊池 光洋 さん

５月から７月にかけて、計７校の修学旅行・野外活動の受け入れをしました。受け入れた北上市の中学校から「この体験は、もっと広めた方がいい！」との感想を受けて、８月から10月まで北上市と盛岡市の中学校に宣伝をしてきました。

各校にＰＲしたところ、「活動先の切り替えは難しい」「地域的に違う体験をさせている」など、現状の確認ができたほか、詳細を知りたいという意見もいただき、資料作成や受け入れ農家・体験内容の幅を増やすための活動をしてきました。

安比・八幡平ふれあい塾 受入農家

ＰＲ資料の一部

長野県飯田市の民泊研修先の柏木さんご夫婦との記念写真

活動の中では、修学旅行受け入れの先進地である長野県飯田市の南信州観光公社へ研修にも行ってきました。研修で思ったことは、受け入れ地域に余裕がなければ体験の受け入れが難しいということです。住んでいる人が楽しく暮らしていなければ、子どもたちも観光客も魅力を感じません。

受け入れるからには、地域と子どもたち、どちらも良い経験になることが理想的です。そのために、私はもっと地域を知り、人を知り、地域振興に関わりながら受け入れ態勢を作っていきたいと思います。

これらの取り組みは、私一人の力では達成できません。地域の皆さんの協力が不可欠です。今後ともよろしくお願いいたします！